

平成22年度 緊急地震速報講演会

緊急地震速報！ そのときどうする？ いま何をする？

平成22年

11月21日(日) 13時30分～15時45分
(開場13時00分)

赤坂区民センター(区民ホール)

入場無料
定員400名

講演



『緊急地震速報』の利活用とその課題

講師: 中森 広道 日本大学文理学部社会学科教授

これまでのアンケート調査などをもとに、緊急地震速報の利活用の現状・問題点や、速報を受け取った人の意識・評価などについて紹介しながら、今後検討すべき課題を提起します。



身を守るための情報の活かし方

講師: 半井 小絵 気象キャスター

阪神・淡路大震災での講師自身の被災体験や、気象予報士として防災情報を伝えてきた経験をもとに、緊急地震速報をはじめとした防災情報の大切さ、活かし方を紹介します。

港区が進める防災対策と助成制度

講師: 遠井 基樹 港区防災課長

港区の緊急地震速報装置購入助成制度の概要及び実施背景を説明するとともに、都心港区が進める防災対策の関連づけ、対策のあらましを紹介します。

※参加方法については裏面をご覧ください。

主催: 気象庁

共催: 港区、緊急地震速報利用者協議会

後援: 内閣府(防災担当)、総務省消防庁

同時開催: 緊急地震速報関連機器等展示会